

沖縄の「人」の力をつなげて大きなパワーに!

内閣府 沖縄総合事務局長 能登 靖 × 日本トランスオーシャン航空株式会社 代表取締役社長 丸川 潔

入札談合等関与行為防止法の研修会をお考えなら、 公正取引室にお任せください

研修会の様子
はこちらです♪



公正取引室では、官製談合事件の未然防止に向けて、発注機関が実施する「入札談合等関与行為防止法」の研修会に、積極的に講師を派遣しています。御希望の際は、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 総務部 公正取引室 TEL 098-866-0049

御利用ください! 独占禁止法相談ネットワーク

商工会議所及び商工会では

- ✓ 独占禁止法
- ✓ 下請法
- ✓ 消費税転嫁対策特別措置法

の相談を受け付けています。

内容・御希望により
公正取引委員会の窓口を
紹介します。

こんなときは・・・

- ✓ 下請取引のトラブル
- ✓ 消費税の転嫁拒否
- ✓ 取引先の販売価格
への関与

秘密厳守!



御相談は、お近くの商工会議所及び商工会 または、沖縄総合事務局
総務部 公正取引室（電話098-866-0049）までお願いします。

～ 美ら島の未来を拓く～

沖縄総合事務局

<http://www.ogb.go.jp/>

広報誌【群星】に対する「皆様の声」をお待ちしています。

沖縄の「人」の力を つなげて大きなパワーに！

「地域の方と交流することで、
沖縄の魅力がよくわかる。」



の と やすし
能登 靖
内閣府 沖縄総合事務局長

「沖縄の価値を上げることに
力を注ぎたい。」

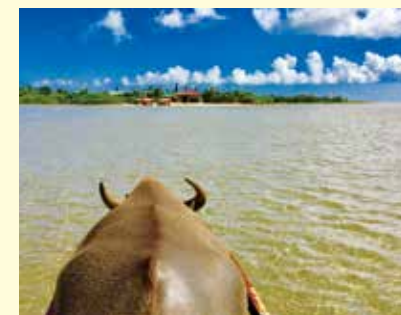


まるかわ きよし
丸川 潔
日本トランスオーシャン航空株式会社
代表取締役社長



- | | | |
|----|----------|---|
| 1 | 特集 | 沖縄の「人」の力をつなげて大きなパワーに！
内閣府 沖縄総合事務局長 能登 靖 × 日本トランスオーシャン航空株式会社 代表取締役社長 丸川 潔 |
| 5 | 仕事の窓 1 | 平成29年度「沖縄力発見創造事業」企業誘致促進プログラム
～沖縄への事業進出・連携の促進を目指して～ |
| 7 | 仕事の窓 2 | 地域企業の価値向上・地域活性化のためのアドバイスとファイナンス |
| 8 | 仕事の窓 3 | 小学生が「財政」について考える 財政教育プログラムin琉大附属小学校 |
| | 仕事の窓 4 | 平成29年度農業農村整備事業 優良工事等における局長表彰式の開催 |
| 9 | 仕事の窓 5 | 株式会社あいあいファーム 農林水産大臣賞受賞おめでとうございます!! |
| 10 | 仕事の窓 6 | 食品安全セミナー |
| | 仕事の窓 7 | はばたく商店街30選 デポアイランド通り会が受賞
～日常と非日常が交差する感性創発型の街を目指す～ |
| 11 | 仕事の窓 8 | 沖縄スポーツ産業クラスター推進協議会 「第2回運営会議」を開催しました。 |
| 12 | 仕事の窓 9 | おきなわワークイノベーション ～働き方改革・生産性向上推進運動～ |
| | 仕事の窓 10 | 国道58号恩納南バイパス 全線暫定2車線開通！
沖縄西海岸道路国道58号浦添北道路 那覇港浦添ふ頭地区臨港道路浦添線
平成30年3月18日(日)に開通しました！
～周辺道路の渋滞緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス性向上～ |
| 14 | 仕事の窓 11 | トラックの「Gマーク」をご存じですか？
～県内で「Gマーク」を認定された事業所は93事業所あります～ |
| 15 | 仕事の窓 12 | タカタ製エアバッグのリコール未改修車は車検で通りません
～まずは「検索システム」などで「措置対象未改修車ではない」ことを確認願います!～ |
| 16 | 仕事の窓 13 | 公共交通活性化に向けた取組 |
| 17 | 仕事の窓 14 | 外国船舶の係船作業の安全対策キャンペーン
～係船索破断による死亡事故の再発防止を!～ |
| 18 | 仕事の窓 15 | 沖縄本島地区のハイヤー運賃を改定 |
| | 仕事の窓 16 | 平成29年度陸運及び観光関係沖縄総合事務局長表彰式 |
| 19 | 内閣府だより | 福井沖縄担当大臣の沖縄訪問・「OKINAWA41 フォトコンテスト」表彰式が開催されました |
| 20 | なか ゆ く い | 毎月第2日曜日は、沖縄がつくる都市型マルシェ「サンライズマーケット」へ! |

表紙の写真は、内閣府で開設している沖縄の知られざる魅力を発掘・発信する総合サイト「OKINAWA41」において実施された、フォトコンテスト／シーズン1の沖縄担当大臣賞受賞作品です。
フォトコンテストは、沖縄県在住の方、沖縄県出身の方など、あなたが応募することが出来ます。皆様のご応募お待ちしております。
詳しくはこちら
<https://www.okinawa41.go.jp/>



表紙写真
はたらく背中

本誌のタイトルについて

群星(むりぶし)とは、沖縄の方言で「昂(すばるぼし)」のことで「ぶりぶし」、「むるぶし」とも呼ばれます。

美しい自然と独特の空気感をもつ癒やしの島・沖縄。
その魅力を支えるのが、沖縄の「人」の力です。
よそから来る人をあたたかく迎え入れるホスピタリティーと、
明るく前向きなバイタリティーを兼ね備えたウチナーンチュたち。
そんな人々が織りなす沖縄の魅力について語り合いました。

沖縄の可能性は 「人」の力

能登 沖縄県は今、ほとんどすべての経済指標が好調を維持し、かつてない好景気の真ただ中にあると言っても過言ではない状態です。

丸川 同感です。弊社は昨年7月に50周年を迎えましたが、県民の翼としてスタートして以来、沖縄がこれほど明るさを感じる時代になったのは、はじめではないでしょうか。離島をはじめ地域の人も皆、明るく前を向いている印象で、これは過性の盛り上がりではなく、しっかりと根付いている手応えを感じています。

能登 私は2016年春に着任してから、沖縄各地を回っていますが、そうやって各地を回ってみて、まず海や森な

ど自然環境の素晴らしさを実感します。それと人の魅力ですね。魅力ある人がたくさん活躍しています。

もうひとつは沖縄の空気感。那覇空港に着いた瞬間から、空気が違うと感じます。沖縄には風景が美しいということ以上に、癒やしの力があるのではないかと思うのです。沖縄の空気、自然の美しさ、人のやさしさなどが、都会で傷ついた心と体を癒やす力になっているのではないのでしょうか。

私たちは沖縄の発展、振興を進めるのが仕事ですが、こういった沖縄の良さをしっかりと残しながら、発展を進めていきたいと考えています。

丸川 沖縄のもつ癒やしの力は、世界のなかでも相当な競争力があると思います。特に離島は、島ごとにカラーが違い、それぞれの良さをもっています。

長い歴史のなかで育まれてきた沖縄の癒やしの力、これをちゃんと伝えられるように連携し、つながっていく。これを生かすのは人の力です。人がどう関わるか、これが沖縄の力を決定していくことになるのではないのでしょうか。

例えばJTAはLGBTのイベントに協賛していますが、これはどんな人が来ても安心できるのが沖縄だ、沖縄は最高に居心地のよい場所だと感じてもらえるようにしたいという気持ちからです。

また私どもでは昨年〇というイベントを開催しました。これは若く才能あふれるウチナーンチュたちに出会いの場を提供し、そこで相互につながり、化学反応的に発展していくことを期待したものです。その結果、ここからさまざまなコラボが生まれるなど、非常に面白い

体験になりました。

このように、人々の個性、地域の個性、離島の個性が化学反応的につながっていくことが、沖縄の力を高めていくと信じています。

能登 沖縄の「人」の力はすごいです。皆さんおいくつになっても元気に活躍されていますし、若い人も高齢者も、明るくユーモアがあり、バイタリティーにあふれた方が多いです。

そういった人たちの魅力は、沖縄各地に泊まって、宿の方と話したり、地元居酒屋で泡盛を酌み交わしたりするなかで、わかってくるんですね。

多様性を生かし発展を

能登 沖縄の主な産業は観光業で、これを伸ばすことが沖縄の発展につながるわけですが、私は「観光」という言葉でひとくくりにするのではなく、観光とリゾートを分けて考えてはどうかと思っています。

観光は物見遊山というか、名所旧跡を訪ね、買い物や食事を楽しんで時間を過ごすことですが、沖縄には観光地としてだけでなく、先ほどの癒やしともつながるリゾートとしての顔もあります。リゾートというのは、観光地をあ

くせく巡るのではなく、ゆっくり滞在して、非日常の時間を過ごすことです。

例えば離島では、のんびり過ごす時間こそふさわしいように、沖縄なら訪れる人が自分に合った居場所を見つけられることができます。そういった多様性を、沖縄はもっています。画一的な開発で、その魅力を損わないようにすべきではないかと思っています。

丸川 確かにそのとおりですね。観光の主役はお客さまを迎える沖縄の人です。美しい風景は人を感動させますが、そこに人が介在することで、その思い出がぐんと深くなります。よそから来る人をあたたかく迎える沖縄の心、ホスピタリティーがあるからです。

ですから人を育てることが、沖縄にとつて大切だと考えています。私どももこれからは空のネットワークだけでなく、沖縄の人のネットワークづくりで地域のお役に立ちたいですね。

能登 私たちも沖縄の発展、振興を進めるなかで、地域の人材は重要だと認識しています。地域で活躍されている方の思いや活動内容を把握することも大切だと思いますので、ともに沖縄の「人」の力をつないで、大きなパワーにつなげていきたいと思います。



Yasushi Noto

Kiyoshi Marukawa

平成29年度「沖縄力発見創造事業」 企業誘致促進プログラム

～沖縄への事業進出・連携の促進を目指して～

内閣府は、本土企業の代表者などに沖縄の優れたビジネス環境や地理的優位性を始めとした沖縄の持つ魅力を理解してもらい、沖縄への事業進出や在沖企業との事業連携などを促進することを目的として、平成29年度「沖縄力発見創造事業」企業誘致促進プログラムを実施しました。

第1回は、平成30年2月28日(水)～3月2日(金)、食品製造関連企業など21社が参加し、第2回は、3月12日(月)～14日(水)、健康食品、製薬・バイオ関連、化粧品製造関連企業など21社が参加して行われました。



【総務部】

NO.1

第1回事業の概要

初日(2月28日)のキックオフミーティングにおいて、沖縄の投資環境や特区・地域制度などについて内閣府及び沖縄県から説明した後、国際物流拠点集積地として「沖縄サザンゲート(ヤマト運輸)」、「那覇空港貨物ターミナルビル(ANAカーゴ)」を視察しました。



キックオフミーティングで企業支援策などを説明

視察終了後、県外から参加した企業の代表者と、能登内閣府沖縄総合事務局長を始めとする局幹部、沖縄県担当者、県内経済界などの関係者が一堂に会し、ワーキングディナーを実施し、交流を深めました。
ディナーの冒頭、あかま内閣府副大



(株)熱帯資源植物研究所の視察

臣(能登局長代読)から、「本土企業の皆様に、沖縄は今、県外・国外から多くの観光客が集まり空前の好景気にあること、若年労働力が豊富であること、アジアの玄関口としての優位性があることなど、沖縄が有するビジネス環境としての魅力の一端を実感していただき、沖縄進出や事業連携のきっかけになることを期待している。」と挨拶がありました。

2日目(3月1日)は、沖縄科学技術大学院大学(OIST)などを視察し、午後の全体セッションでは、企業支援策や在沖企業から6次産業化の取組などの紹介が行われた後、内閣府、沖縄県、在沖企業などと個別相談



参加企業との個別相談



加工食品の素材として参加企業からの関心が高かった、ソデイカやもずくといった沖縄特産の水産物

3日目(3月2日)は、農産、水産、畜産の3コースに分かれて視察し、ラップアップミーティングで締めくくりました。

沖縄力を支える人材 この人の沖縄力 発刊

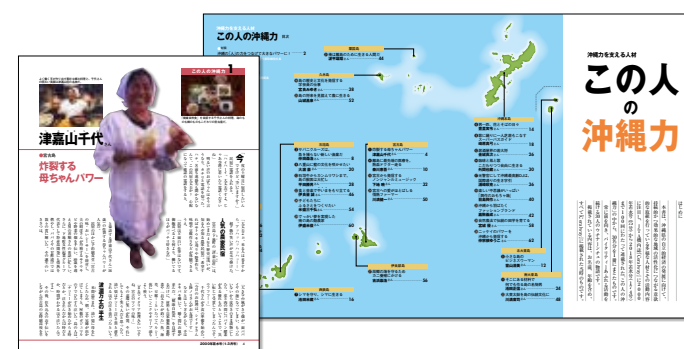


沖縄総合事務局では、関係機関等と連携して、沖縄の持つ強み「沖縄力」である、多様な生物資源、芸能、食等の「地域資源」、OIST等の「知の基盤」、そしてアジアの中心に位置し、人・モノの流れの要石となる「地の利」を最大限に発揮し、成長につなげる取組を行ってきたところです。

沖縄振興を展開していく上で、地域活性化は課題となっており、沖縄力を活かし、地域にイノベーションを起こし、地域をプロデュースする人材が重要になっています。

このようなことから、沖縄県の自立的経済の発展に向けて、持続的かつ効果的な地域の活性化につながる意欲的な取組を行っている多様な人材とその活動内容に注目し、JTA(日本トランスオーシャン航空株式会社)機内誌『Coralway』に2000年若水号から2018年若水号まで100回にわたって連載された「この人の沖縄力」～常に前を向き、バイタリティーあふれる活動続けるウチナーンチュの物語～の中から30名を「沖縄力を支える人材 この人の沖縄力」としてまとめ発刊しました。

本書が広く活用され、離島はじめ地域の活性化に役立ていただけることを期待します。



なお、本書は、当局HPでもご覧いただけますが、
総務部調査企画課(TEL.098-866-0047)でも
配布しておりますのでお問い合わせください。

地域企業の価値向上・地域活性化のための アドバイスとファイナンス

3月19日、金融仲介の質の向上に向けたシンポジウムを開催しました。
会場となった那覇市内のホテルには、金融機関、商工団体、地域企業等から多数の皆様にご来場いただきました。
同シンポジウムは、能登沖縄総合事務局長の主催者挨拶に続き、第一部の基調講演は「金融仲介の改善に向けた検討会議」メンバーなど多くの要職を務めている多胡秀人氏にお話をいただきました。第二部のパネルディスカッションは5名の皆様をパネリストにお迎えし、沖縄県中小企業診断士協会会長の西里喜明氏のコーディネートの下、地域金融機関の持続可能なビジネスモデルの構築に向けた課題や今後取り組むべき方向性について討論が展開されました。
同シンポジウムの詳細については、当局ウェブサイトに掲載予定ですのでご覧ください。

コーディネーター	西里喜明氏（一般社団法人沖縄県中小企業診断士協会 会長）
パネリスト	多胡秀人氏（一般社団法人地域の魅力研究所 代表理事）
//	上地哲氏（沖縄県よろず支援拠点 チーフコーディネーター）
//	喜納朝勝氏（沖縄県中小企業家同友会 代表理事、株式会社丸忠 代表取締役）
//	伊志嶺達朗氏（琉球銀行 執行役員 法人事業部長）
//	伊波一也氏（沖縄銀行 執行役員 法人部長）

リレーションシップバンキングとは…
長期継続する関係の中から、借り手企業の経営者の資質や事業の将来性等についての情報を得て、融資を実行するビジネスモデル。

ESGとは…
環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉。

「金融仲介の改善に向けた検討会議」とは…
金融庁に設置されている同会議では、企業・産業の生産性向上や新陳代謝の促進への貢献、金融機関における担保・保証依存の融資姿勢からの転換などを主なテーマとして、金融仲介のあるべき姿等について外部有識者による議論が進められています。同会議の議事要旨等が金融庁ウェブサイトに公表されておりますので、詳しくは、<http://www.fsa.go.jp/singi/kinyuchukai/index.html>をご覧ください。

【パネリストから発表されたキーワードとその趣旨説明】

上地氏	「ビジネスパートナーとしての金融機関」→金融機関は中小企業・小規模事業者にとってビジネスパートナーであっていただきたい。
喜納氏	「対話」→対話を重視して、あるべき姿に向かって一歩一歩進んでいく事が大切だと考えている。
伊波氏	「利他」→まずお客様の利益を考え、その結果が共通価値の創造につながる。
伊志嶺氏	「行員の達成感」→お客様のためになるよう、できる可能性をギリギリまで考え、壁を乗り越える達成感を多くの行員に味わってもらいたい。
多胡氏	「ヒューマンアセット」→企業と金融機関との共通価値の創造を考えていくうえで、企業も金融機関も従業員という無形資産が重要である。

財務部では、「企業・経済の持続的成長と安定的な資産形成等による国民の厚生増大」という金融行政のミッション達成に向け、パネリストをはじめとした皆様からのご提言を踏まえながら、地域金融機関における組織的・継続的な地域企業への支援に向けた取組みについての確な検査監督を進めてまいります。



【財務部】

NO.2

第一部 基調講演

「地域企業の価値向上・地域活性化のために」をテーマに講演が行われました。
多胡氏は、「リレーションシップバンキングが顧客本位の持続可能なビジネスモデルの本質」であり、地域金融がリレーションで成り立っていることについて具体的かつ明快に説明しました。さらに、企業への適切な金融仲介と本業支援や事業再生も含めたリレーションシップバンキングを面的に展開すべきであると述べた一方で、顧客サイドも顧客本位と自己中心の金融機関とを判別する



第二部 パネルディスカッション

「地域企業の価値向上・地域活性化のためのアドバイスとファイナンス」について、現状の課題・評価や、今後取り組む方向性について討論が行われ、パネリストから、「地域企業の価値向上・地域活性化のためのアドバイスとファイナンス」の実現に向けて最も重要となるキー

目利き力を高め、「正しい金融機関の選び方」の浸透が必要とも述べました。
最後は、「リレーションシップバンキングはESGの思想と全く同じである。ESGの視点なくして『地域の持続的な成長』『顧客本位の持続可能なビジネスモデルの構築』『顧客との共通価値の創造』にはつながっていかない。ESG金融にしっかりと取り組んでいる銀行であれば、株式市場からも評価される。」と述べ講演を締めくくりました。

ワードの発表もありました。

また、経営トップのコミットメントの重要性について、会場の参加者からも「金融機関のトップは、仮に10年程度の影響力があるとすれば、その期間に企業の課題解決に向けて何をするか展望を持ち、地域を支えていくためにやっていただきたい。」との意見が提起されるなど、会場体となった討論が行われました。

最後に、コーディネーターの西里氏は、「金融機関、支援機関、企業の皆様方が今日のパネ

財務部金融監督課
☎0968-866-0095

第2回事業の概要

初日（3月12日）は、第1回と同様のプログラムでスタートしました。

同日夜のワーキングディナーでは、県外参加企業の代表者と、幸田内閣府審議官、富川沖縄県副知事、須加原琉球大学理事・副学長、ロバート・バックマンOIST首席副学長など行政、大学を代表する関係者や県内経済関係者との交流が行われました。

ディナー冒頭で、幸田内閣府審議官

《参加者の声》

《ラップアップミーティング》

- 沖縄の特産品を使った商品開発に興味があり改めて来沖して検討したい。
- 多くの方との交流をきっかけとして、沖縄で何らかの事業ができればと考えている。
- 行政の支援策があることを知り、これを利用して何かできないか考えてみたい。
- 海外への物流拠点としての魅力があり、税制優遇措置にも興味を持った。



ワーキングディナー（初日）における意見交換

から沖縄の投資環境の魅力が紹介され、須加原琉大理事・副学長から西普天間住宅地区における国際医療拠点整備について紹介されました。



沖縄科学技術大学院大学（OIST）における意見交換



琉球大学発ベンチャー（株）Grancellによるプレゼン（左は関Grancellの化粧品）

3日目（3月14日）は、製薬／バイオ関連、化粧品関連の2コースに分かれて視察し、ラップアップミーティングで締めくくりました。

《参加者の声》

《ラップアップミーティング》

- 大変参考になった。東京に戻ったら、早速、他の製薬会社とも協力して、取組を進めたい。
- 沖縄の物流機能を活用すれば、今の収益モデルのままで海外展開ができることが分かった。
- 今の沖縄の勢いを始め、現地に行かなければ分からない生の情報に接することができた。

内閣府では、今回の沖縄力発見創造事業でいただいた様々な御意見を、今後の沖縄振興に活かしていきたいと考えています。



（株）リッチグリーンの視察



株式会社あいあいファーム 農林水産大臣賞受賞 おめでとうございます!!

先進的な農林水産業の取組を讃える「6次産業化アワード(平成29年度6次産業化優良事列表彰)」の表彰式が平成30年3月1日(木)、東京都内で開かれ、株式会社あいあいファーム(沖縄県今帰仁村)が最高位である農林水産大臣賞を受賞しましたので、御紹介します。



【農林水産部】

NO.5

(株)あいあいファームは、飲食店を展開する親会社に対し有機野菜を提供することを目的として、親会社の農業部門として創設されました。今帰仁村が公募した閉校施設の活用に応募し採択され、学校の面影を残したまま、加工施設、レストラン、直売所、宿泊施設などを整備して活動の拠点としています。沖縄食文化の伝承、食育を理念として、今帰仁村内の耕作放棄地を整備して島野菜などを栽培するほか、施設内には味噌、ドレッシング、島豆腐、沖縄そばなどの加工場も整備されています。

事業の内容

(株)あいあいファームは、今帰仁村において有機栽培により野菜、大豆などの農産物を生産するとともに、村の廃校を活用して農家レストラン・宿泊施設や農産物加工施設及び直売施設を整備し、加工した商品を地域の直売所や県内のスーパー、外食事業者へ販売することにより、6次産業化に取り組んでいます。

事業者の概要



(株)あいあいファーム取締役 加力謙一氏(右)と野中農林水産大臣政務官(左)

今回の大臣賞受賞のポイントは次のとおりです。

【強み】

○安全で健康な食の提供を目指し、有機栽培の野菜を中心に農産物の生産に取り組んでいるほか、加工食品も無添加にこだわり、生産規模を拡大していること。

○特に若い世代の食に対する判断力を養いたいと「食育」をテーマの一つに掲げ、「食育の里」として社会の人々の心と体の健康に貢献することを目指していること。

○こうした理念に基づき閉校施設を活用して整備した総合施設では、収穫や加工の体験が可能で、沖縄の食文化を堪能できると国内外の利用者から好評を博していること。

○(株)あいあいファームの取組により今帰仁村に約4万人の観光客が誘致されており、沖縄県内における6次産業化認定



閉校となった教室を改装した宿泊施設

評価ポイント



近年は、国内の修学旅行生やアジア圏を中心に外国人観光客を受け入れており、SNSを通じて外国人客の利用が増加しています。

今後の展望

事業者のリーダー的存在となっていること。

【課題への取組】

○沖縄在来大豆の栽培を復活させることを通じて、昔ながらの沖縄の食文化の維持・発展を図ろうとしていること。

○「地域に若い人が出て自立することが地域を強くする」との考えから社員には独立を促しており、独立して農業を始めた元社員とは協力関係を築き、農産物を全量買い取るなど支援を継続していること。

○(株)あいあいファームの取組により地域の遊休資産である閉校施設の活用を図るとともに、積極的に地域の人材を採用し、地域経済の活性化に取り組んでいること。



レストランでは地元農産物を中心とした料理を提供

農林水産部食料産業課

☎098-866-1673



説明の様子



【財務部】

小学生が「財政」について考える
財政教育プログラムin

琉大附属小学校

NO.3

2月27日、琉球大学教育学部附属小学校の6年生(34名)を対象に「財政教育プログラム」を開催しました。

当プログラムは、学校・財務省・財務局・当局財務部の協働により全国で展開している財政教育授業で、県内では3回目、小学校では初の開催となりました。

開催にあたっては、担任の先生と打合せを行い、事前授業を行って頂きました。財政教育授業当日は「自分の将来のために財政について考える」と題して、財務部職員が身近な公共サービス(医療など)、公共施設の紹介や、それを支えるための会費として税金・保険料があることについて、寸劇などを交えて分かり易く説明しました。



グループワークの様子

財務部財務課広報担当
☎098-866-10091

グループワークでは、財務部若手職員のアドバイスを受けながら、生徒達がパソコン端末を活用して、仮想の「日本村」の予算編成を行いました。増税案や節約案、社会保障費などの歳出、所得税などの歳入のバランスをどう取るのか試行錯誤しながら、大人顔負けの活発な議論が交わされた後、グループ発表が行われました。

生徒からは「日本がよくなるために税を上げたり下げたりすることを、自分も考えたい」、「経済を優先させるか借金返済を優先するか悩んだ」などの感想があり、先生からは「生徒たちは財政について考えることが出来て、今後の税金の使い道についても考えるようになる」、「教科書の学習内容を超えた深い学びを見取ることが出来た」との意見がありました。

【優良工事】

受賞者	西松・屋部宮古伊良部農業水利事業 仲原地下ダム(新垣北部)建設共同企業体	受賞者	前田建設工業株式会社・有限会社 蔵下組平成27年度伊江農業水利事業 伊江地下ダム東工区整備工事共同企業体
工事名	宮古伊良部農業水利事業 仲原地下ダム(新垣北部)建設工事	工事名	平成27年度伊江農業水利事業 伊江地下ダム東工区(その2)整備工事
工事概要	仲原地下ダム(止水壁工) ●施工延長 L=270.0m、 ●平均施工深度 h=47.6m 本工事は、施工深度が仲原地下ダムの他の地区より深い中、綿密な施工管理により、工期内に品質の高い地下ダム止水壁を完成させた。 また、施工延長が270mと大規模であり、2年に及ぶ長い工期であるにもかかわらず、安全面に配慮した創意工夫等が実行され、無事故・無災害を達成した。さらに労働基準監督署より建設事業無災害表彰を受賞した。	工事概要	伊江地下ダム(グラウチング工) ●施工延長 L=94.5m、 ●平均施工深度 h=49.8m 本工事は、地下ダム止水壁の上下流の水位差が30m以上となる困難な条件下で、グラウチング工事を適切に行うことで、工期内に品質の高い浸透抑制壁を完成させた。 また、24時間施工であり、1年を超える長い工期であるにもかかわらず、安全面に配慮した創意工夫等が実行され、無事故・無災害を達成した。

沖縄総合事務局が発注する農業農村整備事業の工事及び調査・測量・設計業務のうち、その成果が優秀で他の模範となるもの、また、工事などを実施した事業地区の受益地域内で優れた地域貢献活動を展開した受注者の方々を表彰する「平成29年度農業農村整備事業優良工事等表彰」の受賞者が決定し、平成30年3月20日に沖縄総合事務局において表彰式を行いました。

【地域貢献活動】

受賞者	(株)サンテックインターナショナル 沖縄支店
活動内容	国営沖縄本島南部土地改良事業において造成された施設における保全活動
活動概要	平成21年に沖縄本島南部土地改良区と地域貢献活動に関する基本協定を締結し、国営事業で造成された排水路の施設内外の清掃活動と併せて、保安林の植栽等を、毎年2回・9年間継続して実施した。また、本施設には天然記念物のオオヤドカリが多く生息していることを踏まえ、生態系に配慮した活動を行い、地域の環境保全に寄与した。 ●活動期間:平成21年度～(継続中) ●活動場所:沖縄県糸満市内



農林水産部農村振興課

☎098-866-1652



【農林水産部】

平成29年度農業農村整備事業
優良工事等における

局長表彰式の開催

NO.4

沖縄スポーツ産業クラスター推進協議会 「第2回運営会議」を開催しました。

平成30年2月28日に沖縄スポーツ産業クラスター推進協議会「第2回運営会議」が、那覇第2地方合同庁舎1号館において開催されました。本協議会は、スポーツ産業の成長性と沖縄のポテンシャルとの親和性に注目し、スポーツの成長産業化を通し、地域経済の活性化と社会課題の解決を図ることを目的として平成29年8月に発足しました。



【経済産業部】

NO.8

「第2回運営会議」について

運営会議（議長…沖縄県経営者協会 会長 安里昌利氏）は、スポーツに関連する産業群（観光、IT、ものづくりなど）の企業を中心に、産学金官の27機関の代表者からなる委員で構成され、本協議会を円滑に推進していくためにPDCAサイクルの実施を担っています。

本会議では、事務局から、「スポーツ・ヘルスケア観光商品開発研究会」を中心とする、5つの「個別研究会」や、産学金官の異業種間交流による新たなビジネスの創出を目指す「シェルパ会合」、そして次年度の方針性について説明があり、これらの取組に対し委員からご意見を頂きました。

本協議会では会員間の「顔の見えるネットワーク」の形成を推進し、連携・融合の中から新商品や新ビジネスなどのイノベーションを創出することを目指してあります。会員数はトレーナーや医療機関、イベント・エンターテインメント、IT分野を中心に合計104（県内83社、県外21社）となりました。ま

2018年度の 沖縄スポーツ産業クラスター 推進協議会の方向性について

た、本協議会事務局に配置されたコーディネーターが、異業種のマッチングや新たなスポーツビジネスの創出を支援しております。本年度は、かりゆし®ブランドを活用したスポーツウェア「かりゆし®スポーツ」の開発・販売など多くのビジネスの芽出しをサポートしてきました。

委員からは、「事業化においては、コスト意識や需要予測が重要」、「クラスター活動が県外に知られていない。東京でのマッチングイベントの開催も検討すべき」といった意見がありました。これらを踏まえ、本協議会では「個別研究会」のテーマ設定を検討し、多様なプレイヤーの活発な交流による新たなスポーツビジネスの創出や事業化に向けた取組を引き続き企画、実施して参ります。

経済産業部企画振興課

担当（大城・仲西・波照間）

☎098-866-1172



運営会議での委員と事務局の意見交換の様子



【農林水産部】

食品安全セミナー

NO.6



食品安全セミナーの様子

基礎的な情報、農林水産省が行った調査結果に基づいた農場から食卓までの衛生対策リレーの重要性及び家庭で気を付けたいことについて説明しました。

本セミナーには、消費者、食品関連事業者及び行政担当者など21名の参加がありました。

参加者からは、「食品安全のために行政がいろいろなことに取り組んでいることがわかった」、「沖縄でよく食べられているヘチマでも食中毒になるということに驚いた」、「食中毒予防の3原則、つけない、増やさない、やっつける」を日頃から心がけていきたいと思った」といった意見が寄せられました。

農林水産部消費・安全課

☎098-866-11672



食品安全セミナーの様子



【経済産業部】

はばたく商店街30選

デポアイランド通り会が受賞

「日常と非日常が交差する感性創発型の街を目指す」

NO.7

はばたく商店街30選
中小企業庁では、地域の特性ニーズを把握し創意工夫を凝らして商店街の活性化や地域の発展に貢献している商店街を『はばたく商店街30選』として全国公募から選定しました。沖縄からは、デポアイランド通り会（北谷町 通り会長…奥原悟）が選定されました。今回の受賞は、以下の取り組みなどが評価されたもので、「はばたく商店街30選」の前身である「がんばる商店街30選（2015）」に続く受賞となり、沖縄県内では初の2度目の受賞となりました。

外国人観光客数は年々増加

通り会では、参加型イベントに加えて新たにエンターテインメントイベントなどを継続して行い、外国人観光客を含め訪れた多くの人がSNSなどを利用して情報を発信を行うような取り組みをしています。その結果、国内外でデポアイランド通りの魅力や認知度が向上しています。このような外国人観光客をターゲットにした様々な取り組みが奏功し、デポアイランドを訪れる観光客は年々増加しています。

集合体の「まちの強さ」づくり

また、通り会ではデポアイランドのコンセプト「ワクワク感創り」に、地域住民、行政機関、商店街事業者など多くの方々の協

力を得ながら地道に取り組んでいます。具体的には、まちが一体となる商空間創りや賑わいを創出するイベント開催、フリーWi-Fiなどの通信環境整備などに取り組み、多くの方がワクワクする賑わい空間を創出しています。

沖縄総合事務局では、今回全国で選定された30の商店街の取組事例の情報発信などを通じて、沖縄県内の商店街等を基盤とした地域経済の活性化や外国人観光客の消費喚起に取り組んでまいります。

（参照：http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/monozukuni300sha/index2018.htm）



はばたく商店街30選 授賞式の様子



経済産業部長への授賞報告

経済産業部商務通商課 流通・サービス産業係
☎098-866-11731

沖縄西海岸道路国道58号浦添北道路 那覇港浦添ふ頭地区臨港道路浦添線 平成30年3月18日(日)に開通しました!

～周辺道路の渋滞緩和、
那覇港・那覇空港へのアクセス性向上～

那覇市 事業箇所



【開発建設部】

NO. 10



※歩行者、自転車、軽車両、125cc以下のバイク等は通行不可

これまで鋭意、工事を推進してまいりました浦添北道路・臨港道路浦添線（宜野湾市宇地泊～浦添市西洲間延長4.5km）が、平成30年3月18日（日）に開通しました。

浦添北道路と臨港道路浦添線が同時に開通することで、国道58号の浦添市や那覇市街地及びその周辺道路の渋滞緩和、那覇港とその背後圏との物流機能の強化並びに、那覇港や那覇空港と県内各拠点とのアクセス性向上に大きく寄与します。



▲テープカット及びくす玉開披



▲福井沖縄担当大臣による式辞



▲通り初め



▲港川自治会の子供たちによる演舞



▲開通後の状況（臨港道路浦添線）



▲開通後の状況（浦添北道路）

開通当日は天気にも恵まれ晴天のなか、福井沖縄担当大臣をはじめ、多くの関係者のご列席のもと開通式を開催しました。

開通式においては、テープカット、くす玉開披、地元浦添市港川自治会の子供たちによる空手やエイサーの演舞が行われ、盛大な開通式となりました。

最後に物流車両など関係者による通り初めを行いました。

一般車両の通行は同日午後4時から開始しており、既に多くのドライバーに利用して頂いております。

最後に、開通まで様々な方にご協力頂き感謝申し上げます。

「働き方改革・生産性向上推進運動」を関係機関・団体とともに展開する沖縄総合事務局は、このたびロゴマークとキャッチコピーを決定いたしました。

ロゴマークは、おきなわⅡO、ワークⅡW、イノベーションⅡIをモチーフとし、生産性が力強く向上するイメージを表しています。

「活用ください」【施策ガイドブック】

人手不足に課題を抱える企業にとって、人材の定着・確保や事業の効率化・省力化などの働き方改革や生産性向上に取り組むことは重要です。「働き方改革・生産性向上推進運動」を通じて県内中小企業・小規模事業者の皆様に取り組みを進めていただくために、このたび国や県、支援機関等が有する様々な支援策を二冊にまとめた



「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」

「働き方改革・生産性向上推進運動」



働き方改革・生産性向上のための「施策ガイドブック」



ダウンロードはこちら↑



▲通り初め



▲テープカット及びくす玉開披

これまで鋭意、整備を進めて参りました国道58号恩納南バイパス（恩納村南恩納～同村仲泊間 延長6.5km）が、平成30年3月8日（木）に全線暫定2車線で開通しました。

恩納南バイパスが開通することにより、恩納村内の観光シーズンにおける現道58号の渋滞緩和、交通安全確保、沿道環境の改善、観光産業の支援に大きく寄与します。

開通当日は、長浜善巳恩納村長をはじめ、沖縄科学技術大学院大学（OIST）副学長など関係者が参加し、開通式が開催されました。開通式で長浜村長は「今回の開通は、地元にとってこの上ない喜びであります。」と祝意を述べられました。開通式に引き続いて、テープカットやくす玉開披、関係者による通り初めを行いました。

一般車両の通行は同日午後4時から開始しており、すでに多くの方に利用して頂いております。

今後も、北部国道事務所では同バイパスの全線4車線開通に向けて整備を推進して参ります。



【経済産業部】

「働き方改革・生産性向上推進運動」

NO. 9



【開発建設部】

「働き方改革・生産性向上推進運動」

NO. 10

タカタ製エアバッグのリコール未改修車は車検で通りません

～まずは「検索システム」などで
“措置対象未改修車ではない”ことをご確認願います!～



【運輸部】

NO.12

トラックの「Gマーク」をご存知ですか？

～県内で「Gマーク」を認定された
事業所は93事業所あります～



【運輸部】

NO.11



＊G、の由来は、「良い」(Good)、「繁栄」(Glory)の頭文字を取ったもの。

2017年12月に認定されたGマーク事業所が表示するものから、「有効期限」などが見やすくなりました。

荷主や利用者がより安全性の高いトラック事業者を選びやすくするため、公益社団法人 全日本トラック協会が、安全性の評価を実施し、認定している制度で平成15年からはじまっています。

認定を受けた事業者のトラックには、「Gマーク」のステッカーが貼られています。(荷台全体をGマークでラッピングしているトラックもあります。)

Gマーク制度(貨物自動車運送事業安全評価事業)とは



認定要件

Gマークの認定を受けるために、全38項目にわたって審査(評価)されます。

次の①～④をすべて満たしていること。

① 評価点数(100点満点)の合計が80点以上であること。

② 次の3つのテーマごとの評価点数が

- a・安全性に関する法令遵守状況 32点(40点満点)
- b・事故や違反の状況 21点(40点満点)
- c・安全性に対する取組の積極性 12点(20点満点)
- ③ 法令に基づく認可申請・届出、報告などの手続きが適正になされていること。
- ④ 社会保険、労働保険への加入が適正になされていること。

県内の認定状況

昨年12月時点で、沖縄県内のGマーク認定事業所は93事業所です。(県内全事業者の約9.7%)

最後に

沖縄総合事務局も「Gマーク制度」を推奨しております。

安全性に優れたトラック事業者を選ぶ目安として「Gマーク」をご活用下さい。

エアバッグは、万が一の事故のときの衝撃を緩和するため瞬で膨らませる必要があります。化学反応によるガス爆発(急激に燃焼したガスがエアバッグを膨張)を利用していますが、タカタ製は他社では使用しない硝酸アンモニウムという火薬を使用しています。この火薬が、エアバッグの製造管理について不適切であったり、乾燥剤なしで湿気のある状態で長期間の温度変化にさらされると劣化し異常破裂を起こすとみられ、ガス発生装置ケースの金属破片が弾丸のように顔や首に向かって激しく飛び散る不具合が発生しているため、平成21年以降リコールを実施し

ています。

これまでも、未改修車に対し、車検時に警告文の交付を行うなどの改修促進の取組を進めていますが、異常破裂による死者が全世界で少なくとも20人を数え、一刻も早い改修が必要であることなどを踏まえ、これまでの取組に加え、新たに、異常破裂する危険性が高い未改修車(以下「措置対象未改修車」という。)については、本年5月1日以降、車検で通さない措置を講じます。

措置対象未改修車かどうかご確認のうえ、未改修の場合は車検前に一刻も早く改修願います。

措置対象車は、原則として少なくとも1回は車検時に警告文を交付するなど、ユーザーに対して改修の必要性を周知している平成28年4月30日以前にリコール届出されているものであつて、異常破裂する危険性が高い特定のガス発生装置(気密性不十分など原因が特定されたもの、及び国内で異常破裂したものと同一タイプのものであつて平成22年以前の仕様のもの)となります。

【緊急告知】

平成30年5月から、
エアバッグのリコール未改修の場合、
車検が通らなくなります!
早急にリコール作業を受けて下さい。

対象車種

タカタ製エアバッグを搭載した

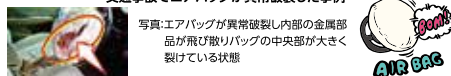
いすゞ	コモ
SUBARU	インプレッサ、レガシ
ダイハツ	ミラ、ハイゼット など4車種
トヨタ	ヴォクシー、カローラ、SC430 など25車種
日産	エクストレイル、フーガ など14車種
ピーエムダブリュ	E46、3シリーズ(318i、320i など)11種
ホンダ	フィット、アコード など31車種
マツダ	RX-8、アテンザ など5車種
三菱	ランサー、アイ など4車種

※詳しくは裏面をご覧ください。



そのまま乗りいただくと大変危険です。 一刻も早い改修をお願いします。

—交通事故でエアバッグが異常破裂した事例—



1. まず下記の検索システムにて措置対象かどうかをご確認ください。

※まず下記の検索システムにて措置対象かどうかをご確認ください。

検索システム パソコン用URL

リコール情報検索アプリ

<https://www.jaspa.or.jp/user/mycar/application/recallsearch.html>

スマホ・タブレット用アプリ

(注)ピーエムダブリュは対応していませんので、下記のホームページより検索して下さい。

2. 未改修車であった場合には、リコール改修を実施してください。ご不明な点等ございましたら下記までお問い合わせください。

各自動車メーカー問合せ先とホームページURL

メーカー	お問い合わせ先	ウェブサイトURL
いすゞ自動車株式会社	0120-119-113	http://www.isuzu.co.jp/recall/
株式会社SUBARU	0120-412-215	http://recall.subaru.co.jp/lqsb/
ダイハツ工業株式会社	0800-500-0182	https://www.daihatsu.co.jp/info/recall/search/recall_search.php
トヨタ自動車株式会社	0800-700-7700	http://www.toyota.co.jp/recall-search/dc/search
レクサス	0800-500-5577	http://lexus.jp/recall/
日産自動車株式会社	0120-941-232	http://www.nissan.co.jp/RECALL/search.html
ピーエムダブリュ株式会社	0120-954-018	http://bmw-japan.jp/after-service/recall_search.html
本田技研工業株式会社	0120-112-010	http://recallsearch.honda.co.jp/sgp/001/000101.do?link=jdsp
マツダ株式会社	0120-386-919	http://www2.mazda.co.jp/service/recall/vsearch
三菱自動車工業株式会社	0120-324-860	http://recall.mitsubishi-motors.co.jp/Recall/jsp/forward.do?page=searchrecallstatus.jp&pref=

国土交通省タカタ専用ダイヤル 03-6747-9575 エアバッグリコール情報ホームページ http://www.mlit.go.jp/jidosha/carinfo/rc/recallinfo_000.html

外国船舶の係船作業の 安全対策キャンペーン

～係船索破断による死亡事故の再発防止を!～

平成21年3月20日に神戸港のコンテナバースで係船ロープの破断により綱取作業員2名の死亡事故が発生しました。事故発生後9年目をむかえた現在も、依然として破断事故が発生していることから、改めて事故の重大さを再認識し、再発防止に向けた安全対策の強化を図る目的で、2月26日から3月9日までの2週間、全国一斉にキャンペーンを実施しました。



【運輸部】

NO.14

運輸部外国船舶監督官は、寄港した外国船舶に対し海上における人命の安全や海洋環境の保全を図るため、船舶の構造設備、海洋汚染防止に係る措置、乗組員の資格要件や労働条件について国際条約に適合しているか検査（ポートステートコントロール…PSC）を実施しています。

今回のキャンペーン期間中にPSCを実施した外国船舶については、係船索及び係船設備に関して重点的に確認するとともに、英語版のリーフレットを配布し、係船設備の整備状況や危険性の認識その他関連項目について、乗組員に対してインタビューすることで係船索の安全な使用につて注意喚起を行いました。

係船作業時に発生する破断 挟まれ事故は、係船索の保守点検不足や係船作業計画などの措置が十分にとられていないことや、乗組員と陸上作業員とのコミュニケーション不足が要因と考えられています。係船索が破断した時にはスナップバック（跳ね返り現象）が引き起こり、時には鉄板も変形させる衝撃となることもあります。神戸での綱取作業員2名の死亡事故は、ス

係船作業中の事故防止 国内の港津に入港した外国船に対する係船作業安全キャンペーン



キャンペーンリーフレット



PSC実施中の様子（係船機）



係船索で船を岸壁に固定



痛みが激しい係船索

スナップバックとは？
係留索が異常に張った状態で破断した時、その係留索が瞬時に跳ね返ってくる状態をいう。その破壊力は破断した索に掛かっていた荷重の1.7倍にもなり、人身に当たれば、人命にかかわる大惨事となる。

公共交通活性化に 向けた取組



【運輸部】

NO.13

沖縄総合事務局運輸部企画室では、公共交通の利便性の向上、利用活性化を図ることにより沖縄本島内の交通渋滞緩和に繋げることを目的として、以下取組を実施しました。
※平成29年度実施

大型商業施設と連携した交通結節点の創出

イオンモール沖縄ライカム（北中城村）との連携により、液晶ディスプレイ（5カ所設置）によるバス運行リアルタイム情報（2カ国語対応）の提供、バスマップ&時刻表（5カ国語対応）の配布を行い、約4ヶ月間の実証調査を実施しました。

今後はより詳細な運行情報の提供等についての改善検討を行い、民間事業者を中心とする導入スキームを構築し、他大型商業施設や公共機関に対する導入促進を図っていきます。



液晶ディスプレイ&待合スペース

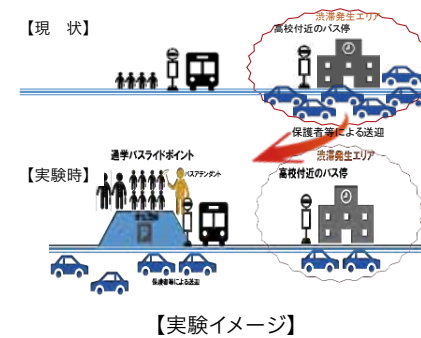


多言語対応バスマップ&時刻表

学生向け路線バス利用促進実験

那覇商業高等学校をモデル校とし、自家用車送迎による登下校をしている学生を対象とした路線バスへの転換実証実験を行いました。郊外に通学バスライドポイントを設け、自家用車送迎を学校ではなく、通学バスライドポイントへと変更を促し、実験参加者には団体割引運賃（通常運賃から2割引）を適用しました。

今後は対象高校の拡大、送迎車両の利便性の良いバスライドポイントの設定を検討します。



【実験イメージ】

公共交通活性化に向けた商業施設連携による利用促進実験

商業施設と連携しOKICAを使ってバス・モノレールで来店（専用アプリで乗降履歴を確認）した方を対象に、各商業施設（飲食店や書店など30店舗以上）などで、割引や1品サービスなど独自のサービスを実施しました。

今後は民間事業者による自立的な取組として周知・協力店舗の拡大などの活動を継続できるよう、調整を図っていきます。



【実験イメージ】

内閣府だより

福井沖縄担当大臣の沖縄訪問

福井沖縄担当大臣は3月3日から4日にかけて、大臣就任後初めて沖縄県を訪問し、翁長知事を始めとする関係者との意見交換、沖縄戦没者墓苑等での参拝・献花、西普天間住宅地区跡地等の視察を行いました。

その後も、3月17日から18日には北部地域等の視察、4月14日から15日には琉球大学長との意見交換等、さらに4月20日から22日には石垣島等の視察のため、沖縄を訪問しました。

福井大臣は、今後とも積極的に現場へ足を運び、現地の生の声を直接聞くこととしています。



なごあぐりパーク視察



翁長知事との懇談



国立沖縄戦没者墓苑 参拝・献花



浦添北道路・臨港道路 浦添線開通式での挨拶

「OKINAWA41 フォトコンテスト」表彰式が開催されました



「風景」部門賞
『ヤエヤマヒメボタル 恋の季節』



内閣府特命担当大臣賞
『はたらく背中』



「暮らし」部門賞
『いざ決戦!』

内閣府が新たに設けた、ウェブサイト「OKINAWA41」(おきなわよんじゅういち)で開催されたフォトコンテストの表彰式が、3月29日、東京で行われました。

表彰式には福井大臣や審査委員長の島尻大臣補佐官、審査委員を務めていただいたガレッジセールのお二人、歌手・モデルの上原奈美さん、写真家の北島清隆さんにも御出席いただき、また沖縄で大注目の獲得久栄昇先生、ヴォーカル・ユニットのティンクティンクのお二人にはビデオレターを寄せていた

だき、大いに盛り上がりました。

受賞作については「OKINAWA41」で御確認いただけます。獲得久栄昇先生のオリジナルビデオもありますので、ぜひご覧ください。(「OKINAWA41」で検索いただくか、URL (<https://www.okinawa41.go.jp/>)からどうぞ。)

さらに、好評を受けて『フォトコンテスト・シーズン2』を開始しました。県民の皆さまの御投稿をお待ちしています!



部門賞受賞者と審査委員の記念撮影



特別賞を紹介するガレッジセールのお二人



ビデオレターで登場した
獲得久栄昇先生

平成 30 年 3 月 1 日
～美ら島の未来を拓く～
内閣府 沖縄総合事務局

沖縄県本島地区のハイヤー運賃改定率を決定

《新運賃 公示》

平成 29 年 5 月 11 から平成 29 年 8 月 10 日までに、5 社 (88 台) から申請されておりました本島地区におけるハイヤーの運賃及び料金の改定申請について審査した結果、本日付けで査定結果に基づく改定後の運賃を公示しましたのでお知らせします。
なお、改定後の運賃については、平成 30 年 4 月 1 日から適用されます。

1. 改定の概要

(1) 改定率 (増収率) 1.6 1.3% (申請増収率: 1.1. 7.5~17. 9.4%)

(2) 自動認可運賃

① 自動認可運賃の範囲 (別添 1)

(新) 特定大型	初乗運賃 (上限額)	1.5km	700 円	30 分	3,020 円
加算運賃 (")	325m	100 円	30 分	3,020 円	

大 型	初乗運賃 (上限額)	1.5km	640 円	30 分	2,740 円
加算運賃 (")	325m	90 円	30 分 <td>2,740 円</td> <td></td>	2,740 円	

普 通	初乗運賃 (上限額)	1.5km	570 円	30 分	2,460 円
加算運賃 (")	317m	80 円	30 分 <td>2,460 円</td> <td></td>	2,460 円	

(旧) 大 型	初乗運賃 (上限額)	1.5km	530 円	30 分	2,430 円
加算運賃 (")	377m	90 円	30 分 <td>2,430 円</td> <td></td>	2,430 円	

中 型	初乗運賃 (上限額)	1.5km	480 円	30 分	2,180 円
加算運賃 (")	368m	80 円	30 分 <td>2,180 円</td> <td></td>	2,180 円	

② 新旧運賃比較 (別添 2)

③ 運賃改定スケジュール (別添 3)

2. 今回の運賃改定の考え方について

今回の運賃改定申請については、車両老朽化に伴う修繕費、増車や代替に伴う車両償却費、人件費の増加により経営が逼迫していることを踏まえ、ハイヤーサービスの質を向上するためには車両代替、運転者確保、乗務員待遇改善、接客・観光知識等の乗務員教育強化を図ることが必要であることを勘案し、実績における運送収入に対する運転者人件費等の割合を維持した上で健全な経営が成立する水準の運賃を設定するという考え方に基つき査定を行ったところであります。

3. 運賃改定に伴う制度変更

今回公示した運賃は、ハイヤー車両の大型化が進んでいることに鑑み、「特定大型」を新設するとともに、車種区分を3区分にあらためます。

【お問い合わせ】
内閣府 沖縄総合事務局
運輸部 陸上交通課
事業改善係
担当者: 友利
TEL: 098-866-1836
FAX: 098-860-2369



【運輸部】

沖縄本島地区のハイヤー運賃を改定

NO.15



【運輸部】

平成29年度 陸運及び観光関係 沖縄総合事務局長表彰式

NO.16



3月19日(月)、沖縄かりゆしアーパシリゾート・ナハのシェルホールにおいて、関係者多数の出席の下、平成29年度陸運及び観光関係沖縄総合事務局長表彰式が行われました。

本表彰は、県内において自動車運送事業、自動車貸渡事業、自動車整備事業及び自動車販売事業の陸運関係事業並びに観光関係事業に従事する役員、職員で当該事業に対する功績が顕著であった方、また、永年にわたり業務に精励し、勤務成績が優秀な方に対し毎年表彰を行うものです。

今年度の受賞者は、事業役員6名、事業職員8名(従業員2名、運転者6名)の計14名が能登局長から受賞者1人1人に対し、功績に対する表彰状が授与されました。



受賞者との記念撮影



表彰式の様子

サンライズマーケット VOL.7

4月8日(日)開催されました。

~~サンライズマーケット出展者の声~~



みやぎ農園 (南城市)

南城市大里の森で微生物と共存する農業を通して持続可能な「美しいむらづくり」を目指しています。

微生物の力を借りて平飼いしている健康な鶏の卵で手づくりしたマヨネーズや、農家へ自社で培養した微生物を供給し、特別栽培による農薬に頼らない野菜をつくってもらい販売しています。

サンライズマーケットは、このような環境や健康にいい商品を通して生産者と消費者が触れ合える貴重な場所であり、今後、消費者の声を商品づくりに活かしたいと思います。

本田星陶所 (那覇市)

那覇市壺屋にて陶器の制作販売、全国各地で展覧会などを行っています。また、ご希望に応じ陶芸制作体験など、陶芸に関わる様々な事に挑戦しているところです。

サンライズマーケットでは、花器からお皿まで生活を彩る幅広いアイテムを揃えており、皆さんの毎日を少しでも楽しく出来ればと考えております。

国籍問わず沢山のひとにご来場いただいております。生産者と消費者のコミュニケーションをとって毎回新しい発見をさせて頂いております。



沖縄がつくる都市型マルシェとは？

サンライズマーケットは、沖縄の野菜や果物、陶器、織物などを販売する都市型マルシェです。2017年10月8日に「サンライズなは商店街」で初めて開催して以来、サンライズマーケットは毎月第2日曜日に定期で開催されています。

サンライズマーケットは作り手(生産者)と使い手(消費者)が出会い商品の魅力を直接、語り合える場所です。一生懸命育てたおいしい野菜や果物等を直接使い手へ届けることができることから、作り手の顔が見える場所となっています。

沖縄の食材の魅力を引き出す腕自慢の飲食店に出会う場所、長く培った技術で作る愛情いっぱいの陶器やアクセサリーの作り手の思いが見える場所、そんな場所が、サンライズマーケットです。

普段の日曜がちょっと素敵に、楽しくなるような場所に。そんなコンセプトで県内各地より一品毎にコダワリを持ったたくさんの出店者が、多くの方のご来場をお待ちしています。

どうしてはじまったの？

那覇市民意識調査(平成28年度)によると、第一牧志公設市場などいわゆる“マチグワー”に殆ど行かないという市民が約6割に上ることが分かりました。そこで、多くの市民・県民がマチグワーを買い物の場所、休日を過ごす場所として、また生産者とのふれあいをとおして沖縄の魅力を再発見し、「商店街からマチグワーを面白くする」との思いを持った有志による実行委員会が発足し、サンライズマーケットは始まりました。



毎月第2日曜日は、沖縄がつくる都市型マルシェ
「サンライズマーケット」へ！



サンライズマーケット

開催日時：毎月第2日曜日 10時～16時
開催場所：サンライズなは商店街

サンライズマーケット ホームページ <https://sunrisemarket.jp/>
出店希望者はホームページよりお申込みください。

サンライズマーケット実行委員会 担当：金城

お問い合わせ：☎008-988-1114 / ☎090-6182-7439

